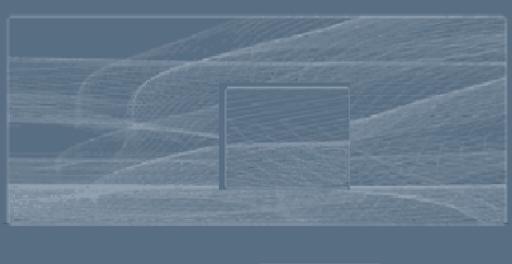
# ウォーミングアップ・プログラム 体験報告







北澤 桂 / Kay Kitazawa

# 実習テーマ

#### ①業務体験活動

マンションナビゲータ事業推進プロジェクト参画 次世代インターフォン端末のGUIソフト開発に同行 e-HIIIに関わる外部交流会参加(玉川大学、生命工学工業技術研究所)

#### ②企画・提言活動

暮らし・都市の新力テゴリーシステム考察・レポート 上記を踏まえ、自らが立案する新社会システムの企画・提言 家庭内端末の操作検証と生活ニーズアンケート調査を実施

# 学んだこと: マンションナビゲータ事業推進プロジェクト

#### 多くの人がそれぞれ異なる使い勝手を求める

- → 多機能を持たせて対応するか
  べーシック・シンプルに最大公約数的にいくか
- → 先駆けて市場(こ「訴える)ことの重要性
- → 初期の段階で細かい部分までの配慮が必要

#### ・様々な制約への妥協点の見つけ方

→ 誰のどの思いを優先するか 商品の本質は何か

# 学んだこと : 暮らし・都市の新カテゴリーシステム考察

- アイディアを具体的な形に落とし込む。
  - → 実現に向けて足りないものは何か、徹底的に調べる可能な部分・不可能な部分を明確に分ける
  - → 多くの人の協力を得るためには?
    どうしたら皆を巻き込めるか考える
- 普通の先にあるものを探す
  - → 奇抜なこと・変わったことをしょうとするのではなく ちょっとした仕掛けの差が展開を生む
  - → 人の視線の二歩先を見て、一歩進んだことをする





**Awareness** 

location



Needs-Mining



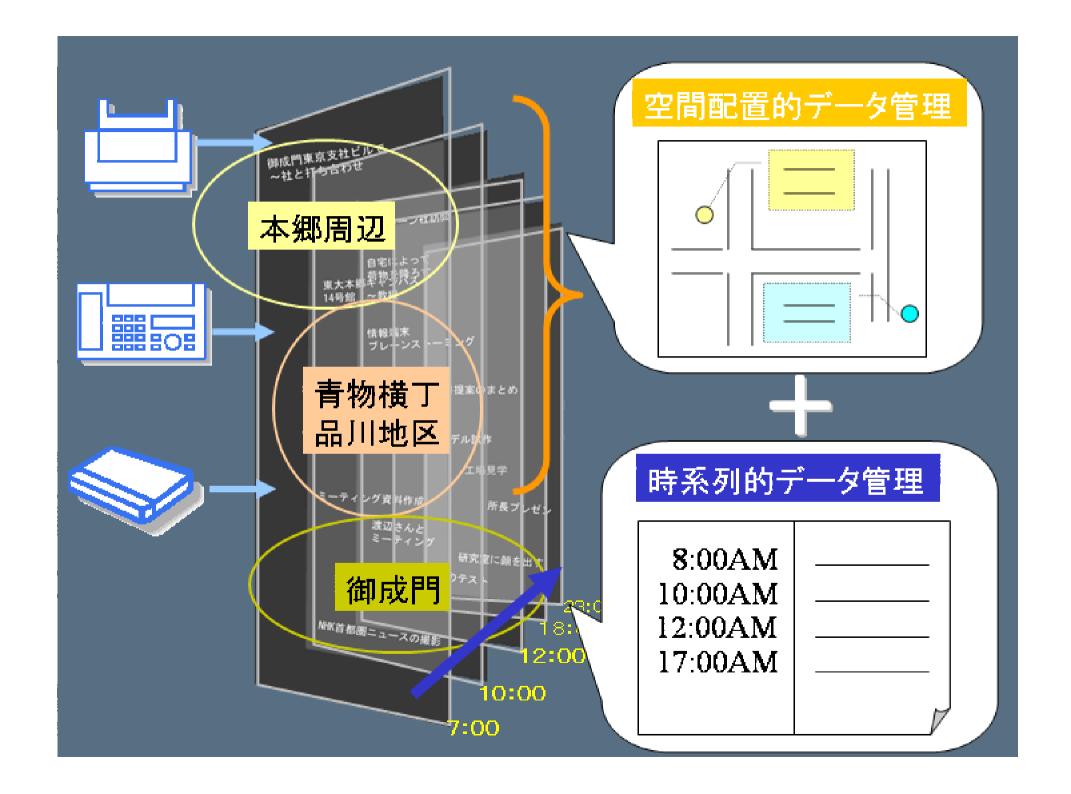




北澤 桂 / Kay Kitazawa

# 都市と暮らしの関係について考える

暮らしに関わる個々人の情報は、 どのように管理・記録されているんだろう・・・・



### 空間位置データ管理と組み合わせるメリット

- <アンケートの結果より>
- ※墓らしにおける情報の管理は紙ベースか記憶に頼る部分が多い
- ※仕事時間の合間に暮らしに関連する情報を獲得したり、墓らしの中で得た情報を利用したりしにくい。
- ※空時間の利用行動やそれに伴う情報収集には、

#### 何よりも手近に情報があることを重視する

自分の情報管理が時間のタグに拠っている 時間が空いたそのときに有効は情報を探し出そうという意識が働きにくい。

空間のタグで整理すれば、今自分の周りでは何があり、 自分のしたいことの中では何ができるかがわかりやすくなる。

現在地の検知サービスと組み合わせることで、時間の効率的な利用、 および**自分の収集した情報(潜在的エーズ、ウォンツ)のマイエング**を 自動的・連続的に行うことができる

# システムの基本コンセプト

家庭内のネットワーク 機器を通じ

### 自分の二一ズ、 自分の興味

を吸い上げる

Ţ

データベース化



携帯情報端末で に持ち出す Reminds-ME システム



企業や行政機関 の製品・サービス のDB ▲

マッチング

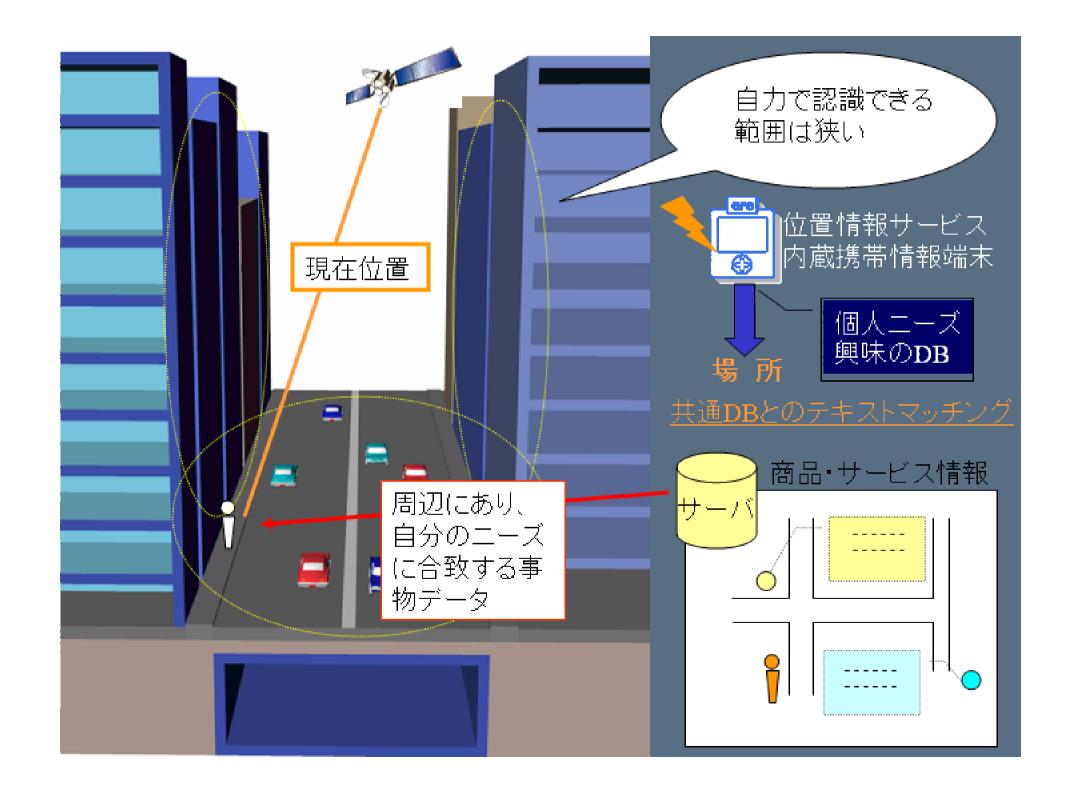
個人のニーズ

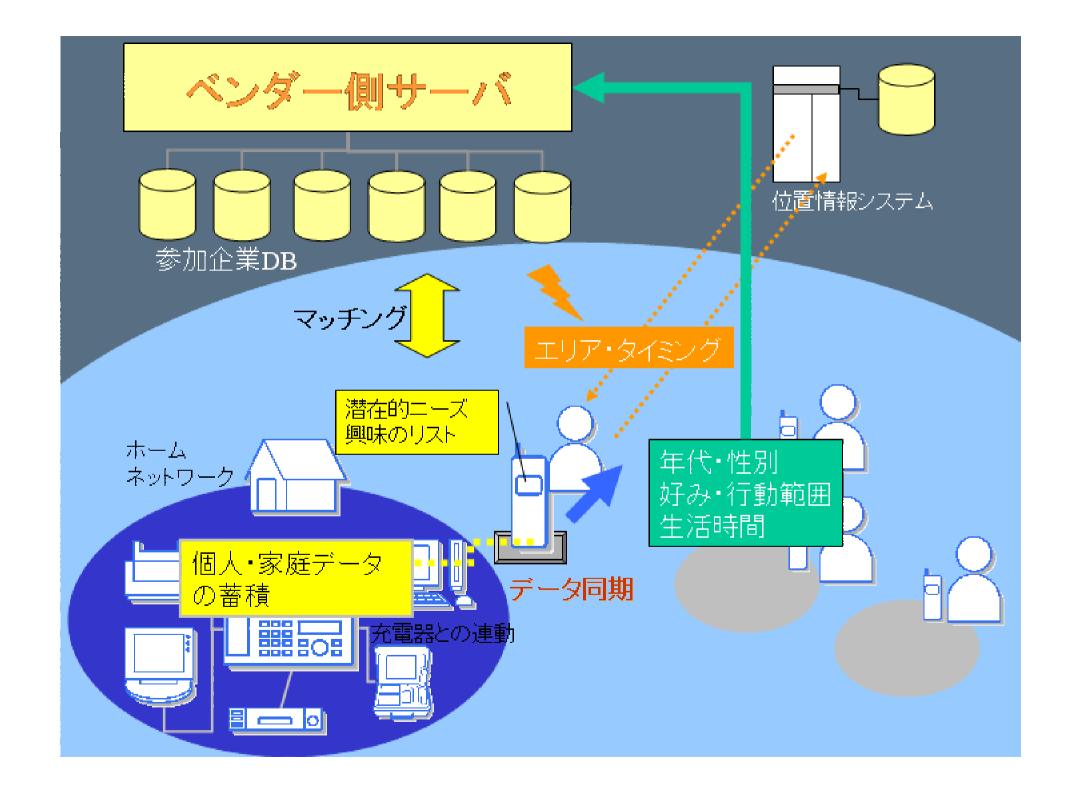
マッチした人に対して、近くに

ニーズ充足の

可能性がある

ことを知らせる





# ビジネスモデルの考察

# 参加企業側・システムベンダーのメリット

#### <u>システムベンダーの商品</u>

広告 → 自分の近くに来た潜在的顧客を開拓できる 従来の広報活動・販促戦略の延長上にある <u>狙った層にピンポイントで</u>効率的に広告を露出できる

#### マーケティング情報 →

どのような個人特性(性別・年齢・嗜好)を持つ人が どこの地域に集まり、どんな購買活動をするかのログがとれる 商品開発・製造における重要なデータ